

平成15年9月8日

関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第2号を送付します。

平成15年度病虫害発生予察注意報第2号

平成15年9月8日
高知県病虫害防除所

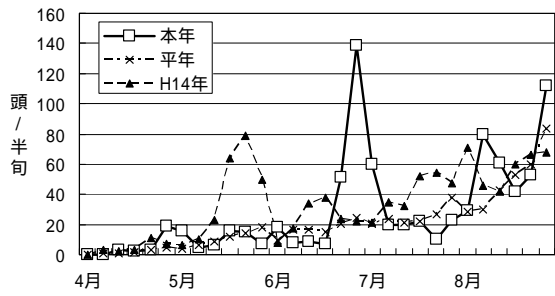
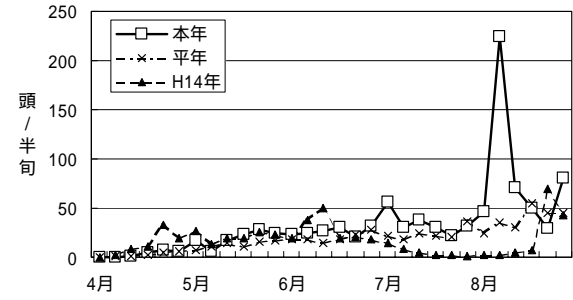
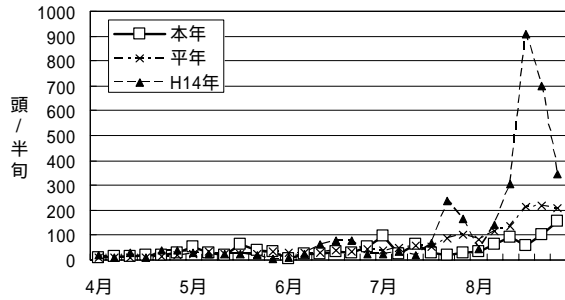
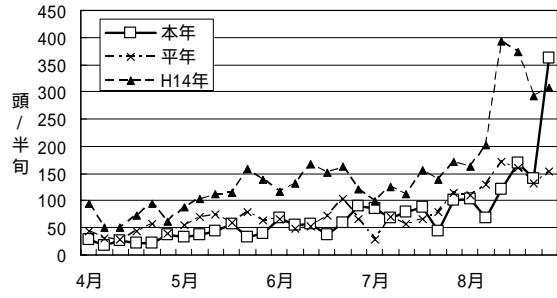
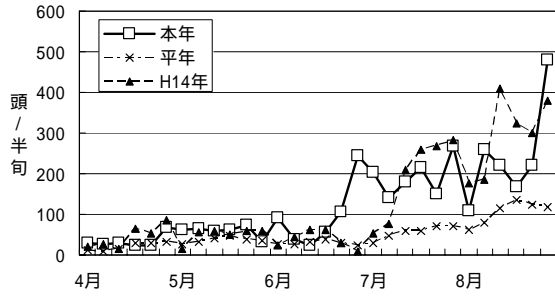
病虫害名 ハスモンヨトウ

1. 対象作物 露地野菜、ダイズ、施設野菜、花き類、飼料作物など
2. 発生地域 県内全域
3. 発生時期 8月中旬以降
4. 発生程度 多
5. 注意報発令の根拠
 - 1) フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、県中央部を除き4月から平年並～やや多めで推移しており、8月第6半旬では、西部を除き平年の数倍の誘殺数となっている(図1)。
 - 2) 南国市甘枝のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ産卵数調査(県農業技術センター昆虫科調べ)では7月第6半旬、8月第1半旬に急増し、いったん減少したものの、再度増加し、8月21日～27日の卵塊数は21.8個(1日/50株当たり)と平年の3倍以上になっている(図2)。
 - 3) 県下のサトイモほ場での巡回調査(8月21日～9月1日)でも、発生の多かった昨年並みの密度となっている(表1)。
 - 4) 向こう一ヶ月の気象予報では気温は平年より高く、降水量・日照時間とも平年並の可能性が大きいので、幼虫の死亡要因は少ないと考えられる。
6. 防除対策
 - 1) 老齢幼虫になると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
 - 2) 1回の薬剤散布で効果が十分でない時は5～7日間隔で数回散布するが、同一薬剤の連用を避ける。
 - 3) 施設栽培ではハウスサイド、天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。

第1表 ハスモンヨトウ卵塊調査結果(サトイモ50株当たり)

調査地点	2003年		2002年	
	調査日	卵塊数	調査日	卵塊数
安芸市 川北	9/1	6	8/19	19
安芸市 井ノ口	9/1	6	8/19	5
芸西村 和食	9/1	1	8/20	11
土佐市 新居	8/21	4	8/20	6
伊野町 枝川	8/21	0	8/20	13
須崎市 上分	8/27	5	8/19	3
葉山村 三間川	8/27	6	8/19	2
中土佐町 久礼	8/28	20	8/19	6
中土佐町 上ノ加江	8/25	7	8/19	3
東津野村 船戸	8/27	0	8/19	3
中村市 竹島	8/26	15	8/20	11
中村市 古津賀	8/26	25	8/20	11
平均		7.9		7.8

注) 調査地点における調査ほ場が複数の場合、各調査ほ場ごとに、50株当たりの卵塊数を算出し、その平均を取った。



調査地点

上列左から安芸市川北、野市町深淵

中列左から南国市廿枝、須崎市押岡

下列は中村市古津賀

図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウ雄成虫誘殺数の推移

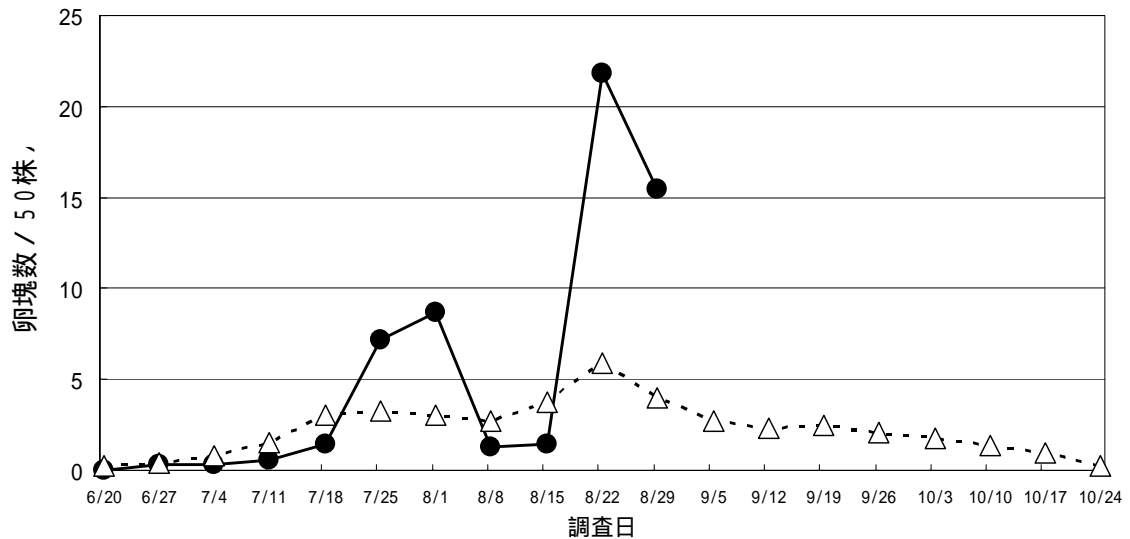


図2 サトイモほ場におけるハスモンヨトウ卵塊数の推移(農業技術センター)

●— 2003年 -△- 平年値